

九州CPのさらなる飛躍に向け

事業運営見直し・強化三次解明



会議もよう



発行所
NTT労働組合
九州総支部

〒812-0013 福岡市
博多区博多駅東3-2-28

TEL 092-714-8296
FAX 092-461-2242

発行責任者
田畑忠治
編集責任者
久保里美

4月7日(金)、第22回分会長(拡大・TV)会議を開催し、各種会議の報告を確認するとともに、平和の取り組み、事業運営見直し・強化に関わる会社見解(三次)等を中心に論議し、意思統一を図った。

はじめに、総支部・田畑委員長は、沖縄の基地問題、国会情勢、仲間づくりの取り組み、事業運営見直し・強化―等に触れあいさつした。次に、総支部より、

第23回総支部委員長会議、第13回総支部事務局長会議―等の報告を行ない確認した。議題では総支部より、

組合加入2年目を対象としたユースコースの実施、九州カンパニーにおける「飛躍のステージへ」に向けた事業運営の見直し・強化―等について提起し、質疑応答を行なった。

とりわけ、「飛躍のステージへ」に向けた事業運営の見直し・強化(三次解明)については、ビジネス営業分野における営業力強化の具体的取り組み、ミッション会社間の業務移行に伴う具体的なすすめ方、組織編成・業務移行―などについて会社見解を明らかにさせており、会社見解に対する総支部の受けとめとして、①分会段階の論議に委ねる事項、②7月以降に引き続き対応を行なっていく事項―など、今後のすすめ方について見解を示し意思統一を図った。

新生活にエールを
4月も中旬を過ぎ、春らしい気候の中、満開だった桜もアツという間に散り始めている。わが子も先日、桜の満開の中、無事に高校入学を迎えた。春休みの期間、毎日、ダラダラと過ごす子を見て、これから待つ高校生生活に耐えられるのか不安が募るばかりだった。あいに入学式には行けなかったが、ビデオや写真を見る限り、凛とした姿にわずかながらも成長を感じ、目を細めて見入ってしまった。真新しい制服に身を包み、期待と不安を感じながらも、これらの高校3年間、部活に勉強に励み、有意義に過ごしてほしいものだ。一方、街に目を向ければ、これもまた、真新しいスーツに身を包んだ新入社員が通勤している姿を目にする。その姿を見て、頑張りとお応援してしまうのは自分だけかな。

(松尾 和寿)

旬感

70年の時を超えて

西本部傘下組合員の願いが凝縮した平和基金を活用し、昨年6月に原爆絵本「世界でいちばん悲しいクラス」を復刻、長崎市内の小中学校や図書館などへ400部寄贈した。長崎純心大学博物館にも保存してもらおうと恵の丘原爆ホームを訪れたところ、城山小2年生の当時、自宅のある城山町で原爆に遭いながらもなんとか生き延びられた方が入居されていることを知った。昨年8月9日、その方から直接お話を伺った。「怖くて怖くて、悲しいとかまったく感じなかった」「校



副委員長(長崎エリア)
上田 洋一

舎が使えず、近くの学校に通ったが、いじめられずに行かなくなった」つらい体験だった。

来年こそは、桜の花が咲く頃に城山小学校を訪れ嘉代子桜を(初めて)見たい、心待ちにしていると聞き、よしっ、一緒に行きましょうと「明日への約束」をした。

そして先日、夢が現実となった。原爆絵本の復刻をきっかけに、恵の丘とNTT労組のコラボで被爆者の70年間の時をつないだ。

被爆後100年につなぐ力としたい。

広島
ピース号

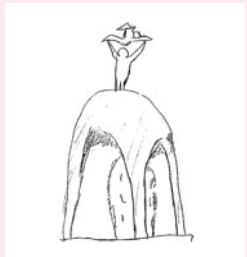
21世紀を「平和の世紀」に

NTT労組は、21世紀を「平和の世紀」とするために、次世代を担う子どもたちに広島悲劇に直接触れ、感じてもらうことを目的に「広島ピース号」を行なっており、今年で28回目を迎えます。本年度は3月26日(日)～29日(水)に行なわれ、九州総支部より、玉那覇稟さん(沖縄分会・玉那覇智子さんのお子さん・小学校6年生)が参加しました。本号では、参加者の感想文を紹介します。

戦争は怖いと伝えたい

1日目、アニメ「つるに乗って」を見て、一番心に残ったのは、さだこさんが生きてほしいという思いで千羽鶴を作るところです。1300羽くらい

作ったけれど、12才で亡くなってしまい悲しくなりました。そして、ともこ(主人公)が行った場所に明日実際行けると



稟さんの書いた「原爆の子の像」



思うと、早く行きたいと思いました。

2日目、資料館で、戦争中や戦争が終わった時に書かれた文や写真を見ました。戦争当時の服もあり、ボ

ロボロだったので、原爆はすごい威力だったんだなと思い、怖くなりました。

ピースウォークで見た原爆ドームも、壊れているところがいっぱいありました。1度の原爆であんなに壊れた中、生き延びた人はすごいと思いました。

3日目、データ比治山ビルに行って、慰霊碑と「広島ピース20」の木にお水をかけました。

次に、袋町小学校に行きました。大きな穴の空いた「たいこ」と、ひびの入ったドアや窓などがありました。原爆のすごい威力がわかりました。

むつみ園では、おじいちゃん、おばあちゃんから戦争の体験を聞きました。戦争が終わった後の生活なども聞き、やっぱり戦争は怖いと思いました。だからこそ、戦争の話をお母さんや友だちにも話していきたいと思いました。みんなが想像している以上に、戦争は怖いと伝えたいです。



むつみ園で語り部の話を聞く稟さん(右)



ピースウォーク

1度の原爆でどれほど多くの人たちが亡くなり、戦争でどんな被害が起きたかを伝えたいです。

(玉那覇 稟)

キラ星★九州 記録のステージに向けて

4月に入って桜木も緑葉に色づき、かりゆしウェアで出勤する社員を目にする今日この頃、退職で去っていく先輩方を見て、退職後の自身の在り方を見つめつつある。子どもたちも就職し、孫2人にも恵まれ、幸せな日常において老後の楽しみとして、趣味の写真整理にハマってしまい仕事以上に忙しい日々である。

ネガフィルムと、写真のスキャンやPCに取込んだデジタルカメ



かつての実家で親子3人記念写真



万座毛の海

ラデータの整理。ほぼ8割程度完了しているが、子どもの頃・学生時代・入社当時・子育て風景などを見ると、感慨深く1人で笑ってしまっている。

今はNikonデジタルカメラを使用しており、家族・孫・友人・組合など、各種イベントの撮影をし、撮影方法やRAMデータ現像ソフトの勉強中である。今のうちに沖縄のきれいな海と自然等を撮り続けたいと思う。「飛躍のステージ」も重要だが、「記録のステージ」を加速中である。

(沖縄分会 具志 栄輝)

未来遺産 お気に入りの絶景



オフロードバイクで荒れた細い山道を抜け、出会う景色に日常たまったストレスの抜ける瞬間が心地よいお気に入りの場所、福岡県那珂川町・五ヶ山ダム近くにある樹齢700年の「小川内の大杉」です。ダム建設に伴う水没を避け、7億8千万円をかけて移植されました。

(フィールドテクノ九州分会 井出 誠司)